

別表5 (その1)

平成31年度特別入試方法 推薦入試(一般枠)

実施学部	教育学部			
募集人員及び推薦人員	推薦人員は、1校につき2名以内とします。地域枠との併願が可能です。			
	専攻・専修・履修分野		募集人員	
	教育発達専攻	幼年教育専修	2名	
	教科教育専攻	国語教育専修	中等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	中等教育履修分野	2名
		数学教育専修	中等教育履修分野	2名
		理科教育専修	中等教育履修分野	2名
		保健体育専修	中等教育履修分野	2名
英語教育専修		中等教育履修分野	2名	
合 計		14名		
出願要件	次の各号に該当し、かつ、本学が指定した平成31年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者			
	(1) 高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成31年3月卒業見込みの者、若しくは学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成30年度の途中において卒業した者、又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年3月修了見込みの者			
	(2) 出身学校の学業成績が優秀で、人物に優れ、かつ、学習意欲が旺盛で、学校長が責任をもって推薦できる者			
	(3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 なお、全体の評定平均値については、第3学年第1学期（2学期制の高等学校等については、前期）までのもので算出してください。			
	(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者			
大学入試センター試験の利用教科・科目名				
	専攻・専修	教科	科目名等	
教育発達専攻	幼年教育専修	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	
		地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	
教科教育専攻	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 英語教育専修	外	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓	
		外	必須 から1 から1 から1 から1 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
	保健体育専修	国数	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 英・英リ、独、仏、中、韓	
		外	必須 から1 から1 [3教科3科目]	
選抜方法	個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、大学入試センター試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。ただし、保健体育専修を志願する者はスポーツ・運動歴調査書を含めます。合格基準は、大学入試センター試験、面接・自己申告書の各得点について満点の5割以上とします。 なお、一般枠と地域枠の両方を受験した者のうち、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。			
出願期間	平成30年11月1日（木）から平成30年11月7日（水）まで （「書留速達郵便」により郵送してください（持参不可）。平成30年11月7日（水）までの消印のあるものを有効とします。）			
試験期日	平成30年12月15日（土）			
合格発表日	平成31年2月10日（日）			

実施学部	教育学部																														
募集人員及び推薦人員	<p>出願要件(1)～(4)を満たす場合の推薦人員は、1校につき3名以内とします。また、出願要件(1)～(4)に加えて出願要件(5)を満たす場合は、1校あたり更に3名以内の推薦を認めます。一般枠との併願が可能です。</p> <table border="1" data-bbox="363 353 1050 734"> <thead> <tr> <th colspan="2">専攻・専修・履修分野</th> <th>募集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">教育発達専攻</td> <td>教育学専修</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>心理学専修</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育専修</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">教科教育専攻</td> <td>国語教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>社会科教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>数学教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>理科教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>音楽教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>美術教育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>保健体育専修</td> <td>初等教育履修分野 2名</td> </tr> <tr> <td>家庭科教育専修</td> <td>初等教育履修分野 1名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>23名</td> </tr> </tbody> </table>	専攻・専修・履修分野		募集人員	教育発達専攻	教育学専修	3名	心理学専修	3名	特別支援教育専修	2名	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野 2名	社会科教育専修	初等教育履修分野 2名	数学教育専修	初等教育履修分野 2名	理科教育専修	初等教育履修分野 2名	音楽教育専修	初等教育履修分野 2名	美術教育専修	初等教育履修分野 2名	保健体育専修	初等教育履修分野 2名	家庭科教育専修	初等教育履修分野 1名	合計		23名
専攻・専修・履修分野		募集人員																													
教育発達専攻	教育学専修	3名																													
	心理学専修	3名																													
	特別支援教育専修	2名																													
教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	社会科教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	数学教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	理科教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	音楽教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	美術教育専修	初等教育履修分野 2名																													
	保健体育専修	初等教育履修分野 2名																													
	家庭科教育専修	初等教育履修分野 1名																													
合計		23名																													
出願要件	<p>次の各号〔(1)～(4)または(1)～(5)〕に該当し、かつ、本学が指定した平成31年度大学入試センター試験の教科・科目を受験する者</p> <p>(1) 奈良県内の高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成31年3月卒業見込みの者及び平成30年3月に卒業した者、若しくは学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成30年度の途中において卒業した者</p> <p>(2) 将来にわたり奈良県下の学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性等を有すると思われる者で、出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志を有する者</p> <p>(5) 高等学校在学中（在学中の学生については、出願前の学期まで）に教育に関する科目、ボランティア活動に関する科目のいずれかの科目の単位を4単位以上修得した者</p> <table border="1" data-bbox="486 1187 1396 1496"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th colspan="2">科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国 数</td> <td>国</td> <td rowspan="2">必須 から1</td> </tr> <tr> <td>数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地歴 公民 理</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B</td> <td rowspan="2">から1</td> </tr> <tr> <td>現社、倫、政経、倫政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外</td> <td>A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1</td> <td rowspan="2">A又はB から1</td> </tr> <tr> <td>英・英リ、独、仏、中、韓</td> </tr> </tbody> </table> <p>[5教科5科目若しくは6科目]</p>	大学入試センター試験の利用教科・科目名			教科	科目名等		国 数	国	必須 から1	数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1	現社、倫、政経、倫政経	外	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB から1	英・英リ、独、仏、中、韓												
大学入試センター試験の利用教科・科目名																															
教科	科目名等																														
国 数	国	必須 から1																													
	数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報																														
地歴 公民 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1																													
	現社、倫、政経、倫政経																														
外	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB から1																													
	英・英リ、独、仏、中、韓																														
選抜方法	<p>個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、自己申告書、公的な受賞歴・競技会・コンクール等への参加歴及び公的な資格調書、大学入試センター試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。また、音楽教育専修では実技試験を行います。美術教育専修を志願する者は「<制作作品や活動>の実物またはその写真や資料」及び「<美術作品、美術活動>証明書」を、保健体育専修を志願する者はスポーツ・運動歴調書を含めます。合格基準は、大学入試センター試験、面接・自己申告書・実技試験の各得点について満点の5割5分以上とします。</p> <p>なお、一般枠と地域枠の両方を受験した者のうち、地域枠で合格した者は一般枠では不合格とし、地域枠での合格を優先します。</p>																														
出願期間	平成30年11月1日（木）から平成30年11月7日（水）まで （「書留速達郵便」により郵送してください（持参不可）。平成30年11月7日（水）までの消印のあるものを有効とします。）																														
試験期日	平成30年12月15日（土）																														
合格発表日	平成31年2月10日（日）																														

別表5 (その3)

推薦入試にかかる面接の内容・評価の観点

(一般枠)

専攻	専修・履修分野		内容・評価の観点
教育発達 専攻	幼年教育専修		個人面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育(保育)についての問題意識、教育(保育)への意欲、保育者としての資質などを見て、評価します。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、中等教育に対する理解、関心や期待、国語に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。
	社会科教育専修	中等教育履修分野	集団面接の形式で、教育に対する理解、関心や期待、現代社会が抱える諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。ただし、志願者数等により、個人面接となることがあります。
	数学教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志望者数により、集団面接となることがあります。
	理科教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	保健体育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに教職への意欲をみて、評価します。 (2)提出された「スポーツ・運動歴調書」をふまえ、保健体育を担当する教員としての資質を評価します。 ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	英語教育専修	中等教育履修分野	個人面接の形式で、教育に対する理解、関心や期待、英語、英語教育及び国際理解教育に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。

別表5（その4）

推薦入試にかかる面接の内容・評価の観点

（地域枠）

専攻	専修・履修分野		内容・評価の観点
教育 発達 専攻	教育学専修		個人面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	心理学専修		志望の動機、将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志、教職への意欲、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を個人面接及び自己申告書の内容を見て評価します。特に子どもの心理的特徴をふまえた教育実践を行える教員となる意欲や態度を評価します。
	特別支援教育専修		志望の動機、将来、奈良県下の学校教員として活躍する強い意志、教職への意欲、教員としての資質、学習意欲、子どもの発達・教育についての問題意識等を個人面接および自己申告書の内容を見て評価します。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、初等教育に対する理解、関心や期待、国語に関する諸問題等について問い、教員としての資質、学習意欲、問題意識等を評価します。
	社会科教育専修	初等教育履修分野	集団面接の形式で、小学校教員への志望動機、社会科教育専修で学びたい理由、奈良県という地域への見方などをみて評価します。志願者数によっては個人面接になることもあります。
	数学教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（ベクトル、数列）に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志望者数により、集団面接となることがあります。
	理科教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、教職への意欲と特に奈良県の小学校教員をめざす動機と意志を確認したうえで、入学後の学習計画、教科内容に関する知識について問い、意欲・関心・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
	音楽教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに地域の初等教育への意欲をみて評価します。 (2)適性をみるため「新曲視唱及びピアノ演奏もしくは弾き歌い」をふまえ、音楽を担当する教員としての資質を評価します。
	美術教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育実践に対する理解や関心並びに教職への意欲をみて評価します。 (2)提出された「＜美術作品または美術的な活動＞証明書」及び「その実物又は写真」をふまえ、図画工作・美術に関する興味や関心を問い、この分野に強みをもつ小学校教員としての資質を評価します。
	保健体育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、 (1)「自己申告書」の内容をふまえ、現代の教育課題についての理解や関心、ならびに教職への意欲をみて、評価します。 (2)「スポーツ・運動歴調査」をふまえ、小学校教員としての資質を評価します。 ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
家庭科教育専修	初等教育履修分野	個人面接の形式で、本専修を志望した動機、入学後の学習計画、教科内容に関する知識、教職への意欲について問い、関心・意欲・思考力・表現力等を総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。	

別表5（その5）

推薦入試（地域枠）にかかる実技検査の内容・評価の観点

専攻・専修	内容・評価の観点
教科教育専攻 音楽教育専修	<p>【実技検査の内容及び評価の観点】</p> <p>以下の課題により、音楽的能力、理解力、表現力をみます。</p> <p>(1)新曲視唱（8小節程度の旋律を階名視唱する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始音、主和音を与えます。 <p>(2)以下の2種目から選択し、暗譜で5分以内の演奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 任意のピアノ曲 b. 任意の歌曲のピアノ伴奏による弾き歌い <ul style="list-style-type: none"> ・演奏する曲の曲名、調性、作曲者名を入学志願票に記入してください。

平成 31 年度特別入試方法（帰国生徒）

実施学部	教育学部			
募集人員	専攻・専修・履修分野		募集人員	
	教育発達専攻	教育学専修	若干名	
	教科教育専攻	理科教育専修	初等教育履修分野	若干名
			中等教育履修分野	
英語教育専修		中等教育履修分野		
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者のうち外国の学校教育を受けた者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者</p> <p>(1) 基礎資格</p> <p>次のいずれかに該当する者で、平成 31 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者</p> <p>ア. 学校教育における 12 年の課程を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者</p> <p>イ. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ウ. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>エ. フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(2) 要件</p> <p>次に掲げるすべての要件に該当すること。</p> <p>ア. 平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの間に基礎資格を取得していること。</p> <p>イ. 12 年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているか、または、日本の教育制度の中学校及び高等学校に相当する期間のうち、外国において中学校ないし高等学校に通算 3 年以上在籍した者（ただし、日本の高等学校等の在籍期間は 2 年以内の者）</p> <p>(注) 外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなされません。</p> <p>出願資格について疑問のある場合は、事前にお問い合わせください。</p>			
選抜方法	大学入試センター試験を免除し、出願書類（自己推薦書、成績証明書等（調査書））、小論文及び面接等の結果を総合して選抜します。			
出願期間	平成 30 年 10 月 5 日（金）から平成 30 年 10 月 11 日（木）まで（消印有効）			
試験期日	平成 30 年 11 月 17 日（土）			
合格発表日	平成 30 年 11 月 29 日（木）			

実施学部	教育学部																																												
募集人員	各専修若干名																																												
出願要件	<p>下記の資格をすべて有する者 (1) 外国籍を有する者（ただし、日本国の永住許可を得ている者は対象としません。）で、次の各号のいずれかに該当する者 (ア) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 31（2019）年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 (イ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成 31（2019）年 4 月 1 日現在 18 歳に達している者 (ウ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で平成 31（2019）年 4 月 1 日現在 18 歳に達している者 (エ) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で平成 31（2019）年 4 月 1 日現在 18 歳に達している者 (オ) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル）資格を授与された者 (2) 独立行政法人日本学生支援機構『日本留学試験』の平成 29 年度（第 1 回・第 2 回）、平成 30 年度（第 1 回）のうちいずれかを受験した者で、次の各号のすべてに該当する者 ① 各専修が指定する教科及び科目を受験した者。 ② 日本語 250 点以上の成績を修めた者。ただし、日本語は、読解、聴解・聴読解、記述の 3 領域を含む。 ③ 数学、総合科目の合計点 210 点以上、もしくは数学、理科の合計点 220 点以上の成績を修めた者。</p> <p>※本学を受験するにあたり、必要な日本留学試験の教科及び科目について ○：必須、△：選択</p>																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">専攻名</th> <th rowspan="2">専修名</th> <th colspan="4">教科</th> <th rowspan="2">出題言語</th> </tr> <tr> <th>日本語</th> <th>数学</th> <th>総合科目</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">教育発達専攻</td> <td>教育学専修</td> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択</td> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">△</td> <td rowspan="4">日本語 又は 英語を 選 択</td> </tr> <tr> <td>心理学専修</td> </tr> <tr> <td>幼年教育専修</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育専修</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">教科教育専攻</td> <td>国語教育専修</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">△</td> <td rowspan="10">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>社会科教育専修</td> </tr> <tr> <td>数学教育専修</td> </tr> <tr> <td>理科教育専修</td> </tr> <tr> <td>音楽教育専修</td> </tr> <tr> <td>美術教育専修</td> </tr> <tr> <td>保健体育専修</td> </tr> <tr> <td>家庭科教育専修</td> </tr> <tr> <td>技術教育専修</td> </tr> <tr> <td>英語教育専修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝統文化教育専攻</td> <td>書道教育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>文化遺産教育専修</td> </tr> </tbody> </table> <p>△ 数学教育、理科教育、家庭科教育及び技術教育専修の場合、総合科目又は理科（2 科目）のうちいずれかを選択。</p>	専攻名	専修名	教科				出題言語	日本語	数学	総合科目	理科	教育発達専攻	教育学専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	日本語 又は 英語を 選 択	心理学専修	幼年教育専修	特別支援教育専修	教科教育専攻	国語教育専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	社会科教育専修	数学教育専修	理科教育専修	音楽教育専修	美術教育専修	保健体育専修	家庭科教育専修	技術教育専修	英語教育専修	伝統文化教育専攻	書道教育専修	○	○	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択
専攻名	専修名			教科					出題言語																																				
		日本語	数学	総合科目	理科																																								
教育発達専攻	教育学専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	日本語 又は 英語を 選 択																																							
	心理学専修																																												
	幼年教育専修																																												
	特別支援教育専修																																												
教科教育専攻	国語教育専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																							
	社会科教育専修																																												
	数学教育専修																																												
	理科教育専修																																												
	音楽教育専修																																												
	美術教育専修																																												
	保健体育専修																																												
	家庭科教育専修																																												
	技術教育専修																																												
	英語教育専修																																												
伝統文化教育専攻	書道教育専修	○	○	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																							
	文化遺産教育専修																																												
選 抜 方 法	大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績と、本学で実施する試験の成績・面接等の結果を総合して選抜します。																																												
出 願 期 間	平成 30 年 10 月 5 日（金）から平成 30 年 10 月 11 日（木）まで（消印有効）																																												
試 験 期 日	平成 30 年 11 月 17 日（土）																																												
合 格 発 表 日	平成 30 年 11 月 29 日（木）																																												